

まつしん

MatsuShin
Business
Report

No. 145

景況 レポート

CONTENTS

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

業種別の業況

⑦ ⑧

経済指標

⑨ ⑩

特別調査

「2022年(令和4年)の経営見通し」



ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

調 査 要 綱

1. 調査時期 2021年12月
2. 調査対象期間 2021年10～12月期（実績）
2022年1～3月期（予想）
3. 調査方法 当金庫職員による聴き取りおよび留め置き調査
4. 調査対象 当金庫取引先事業所
5. 調査対象企業数・有効回答数等の内容

区 分	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率(%)
製 造 業	60	59	98.3%
小 売 業	58	58	100.0%
サ ー ビ ス 業	48	48	100.0%
建 設 業	50	50	100.0%
合 計 (総 合)	216	215	99.5%

6. 分析の方法

この調査は、各質問項目に企業の総回答数に対する「良い（増加等）」および「やや良い（やや増加等）」と回答した企業の割合と、「やや悪い（やや減少等）」および「悪い（減少等）」と回答した企業の割合との差D Iを中心に分析を行っています。

※ D I（業況判断）＝「良い・やや良い」－「悪い・やや悪い」企業数構成比（％）

傾向値＝（4期前～前期までの合計＋3期前～今期までの合計）÷8

傾向値は4期間2段階の移動平均法で算出した数値です。

概 況(総合)

区 分	2021年 7月～9月	2021年 10月～12月	2022年 1月～3月予想	概 要(総合)
総 合				2021年10～12月期（今期）の業況判断D Iは▲23.3となり、前期比12.0ポイント改善となりました。 主要指標D Iは、売上額が▲3.3（前期比17.2ポイント改善）、収益が▲17.2（同17.2ポイント改善）、資金繰りは▲13.0（同6.1ポイント改善）となりすべての主要指標が改善しました。設備投資実施企業割合は30.2%となり、前期比1.9ポイント減少しました。
製 造 業				業種別の業況判断D Iは、製造業が▲13.6（同6.4ポイント改善）、小売業が▲39.7（同25.2ポイント改善）サービス業が▲39.6（同8.3ポイント改善）、建設業が0.0（同8.0ポイント改善）となり4業種共に今期の業況は改善しました。
小 売 業				来期の予想業況判断D Iは、7.9ポイント悪化の▲31.2となり業況の悪化を予想する結果となりました。
サ ー ビ ス 業				業種別の予想業況判断D Iは、製造業が▲6.8（同6.8ポイント改善）と改善する予想となり、小売業が▲63.8（同24.1ポイント悪化）、サービス業が▲45.8（同6.2ポイント悪化）、建設業が▲8.0（同8.0ポイント悪化）と悪化すると予想しています。
建 設 業				

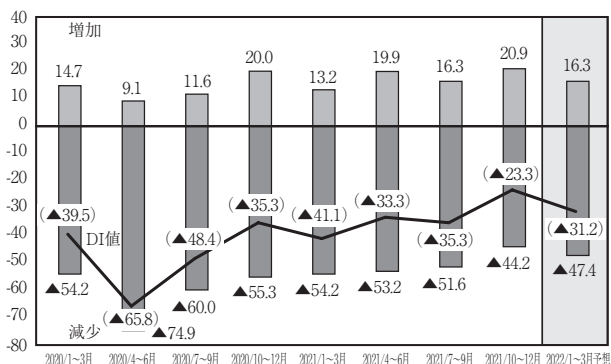
（このお天気マークは、景気指標を総合判断したものです。）

指数 31以上 30.9～21 20.9～10 9.9～-9.9 -10～-20.9 -21～-30.9 -31以下
好調 ← → 低調

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想									
	2020/1~3月	2020/4~6月	2020/7~9月	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
業況判断	▲ 39.5	▲ 65.8	▲ 48.4	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 33.3	▲ 35.3	(▲38.6) ▲ 23.3	▲ 31.2

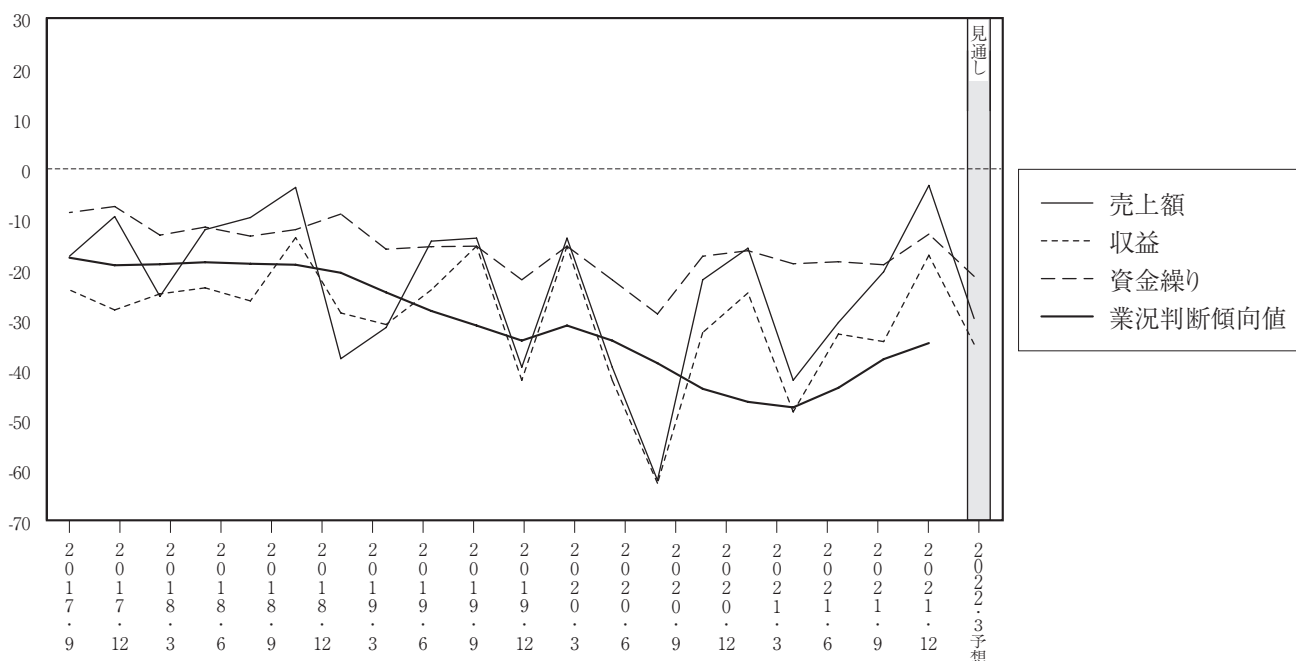
●業況判断



●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)
〔前期と比べて〕

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
売上額	▲ 15.8	▲ 42.1	▲ 30.6	▲ 20.5	(▲ 23.7) ▲ 3.3	▲ 29.8
収益	▲ 24.7	▲ 48.4	▲ 32.9	▲ 34.4	(▲ 31.2) ▲ 17.2	▲ 34.9
資金繰り	▲ 16.3	▲ 18.9	▲ 18.5	▲ 19.1	(▲ 21.9) ▲ 13.0	▲ 21.4
業況判断傾向値	▲ 46.4	▲ 47.5	▲ 43.6	▲ 37.9	▲ 34.7	

●指標の推移状況(DI値)



●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月～9月	2021年 10月～12月
1	売上の停滞・減少 50.2	売上の停滞・減少 44.2
2	利幅の縮小 26.5	人手不足 28.4
3	人手不足 26.0	利幅の縮小 23.3
4	材料価格上昇 16.7	材料価格上昇 20.5
5	人件費の増加 12.6	大企業との競合 12.6

・企業数割合(上位5項目)

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月～9月	2021年 10月～12月
1	経費の節減 47.9	経費の節減 47.9
2	人材の確保 26.5	人材の確保 34.9
3	販路の拡大 23.3	販路の拡大 24.7
4	技術力の強化 20.5	技術力の強化 19.5
5	教育訓練強化 14.0	教育訓練強化 14.4

・企業数割合(上位5項目)

製 造 業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
業況判断	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 21.3	▲ 20.0	(▲ 20.0)	▲ 6.8

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
設備の水準	▲ 11.5	▲ 3.8	▲ 21.3	▲ 21.7	(▲ 18.3)	▲ 20.3
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	28.8%			23.7%		

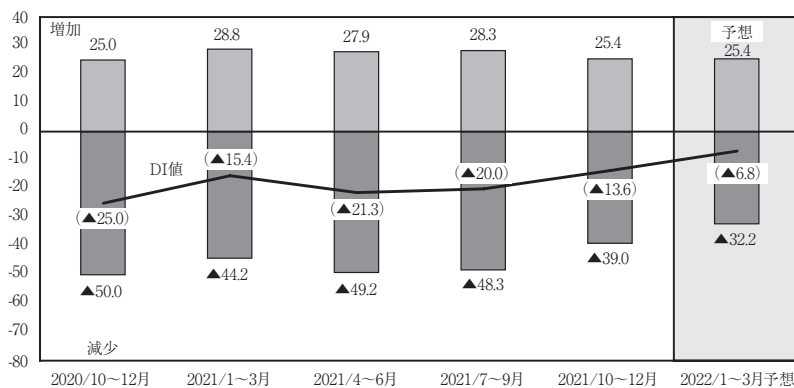
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

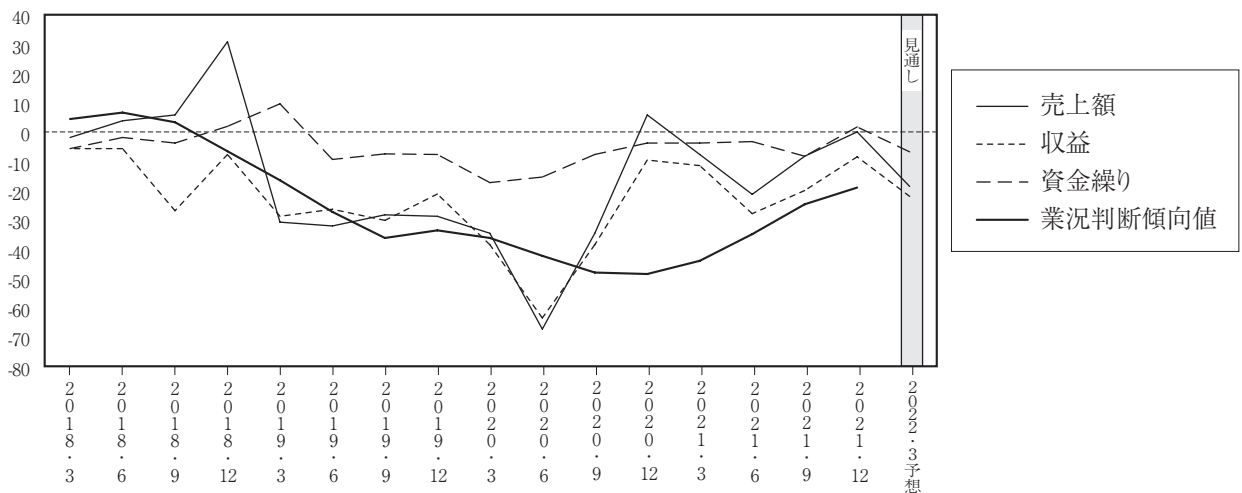
カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
売上額	5.8	▲ 7.7	▲ 21.3	▲ 8.3	(▲ 13.3)	▲ 18.6
収 益	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 27.9	▲ 20.0	(▲ 21.7)	▲ 22.0
資金繰り	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 8.3	(▲ 18.3)	▲ 6.8

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲13.6となり、前期から64ポイント改善しました。

主要指標DIは、売上額は0.0(前期比8.3ポイント改善)、収益▲8.5(同11.5ポイント改善)、資金繰りは1.7(同10.0ポイント改善)となり主要指数すべてが改善しました。また、今期設備投資をした企業は28.8%となり前期比▲6.2ポイント悪化しました。

来期の予想DIは、売上額が18.6ポイント減少の▲18.6、収益が13.5ポイント減少の▲22.0、資金繰りが8.5ポイント減少の▲6.8となり、主要指数がすべて減少し経営環境の悪化が予想されます。業況判断予想DIは6.8ポイント増加の▲6.8となりました。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月~9月	2021年 10月~12月
1	売上げの停滞・減少 40.0	売上げの停滞・減少 35.6
2	工場・機械の狭小 老朽化 人手不足 26.7	材料価格の上昇 33.9
3	利幅の縮小 23.3	工場・機械の狭小、 老朽化 27.1

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月~9月	2021年 10月~12月
1	販路の拡大 41.7	販路の拡大 40.7
2	人材の確保 経費削減 31.7	経費削減 37.3
3	情報力強化 28.3	人材の確保 32.2

小 売 業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
業況判断	▲73.1	▲82.7	▲58.6	▲64.9	(▲70.2)	▲63.8

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
設備の水準	▲17.3	▲15.4	▲15.5	▲17.5	(▲15.8)	▲17.2
設備投資した企業割合	29.3%			15.5%		

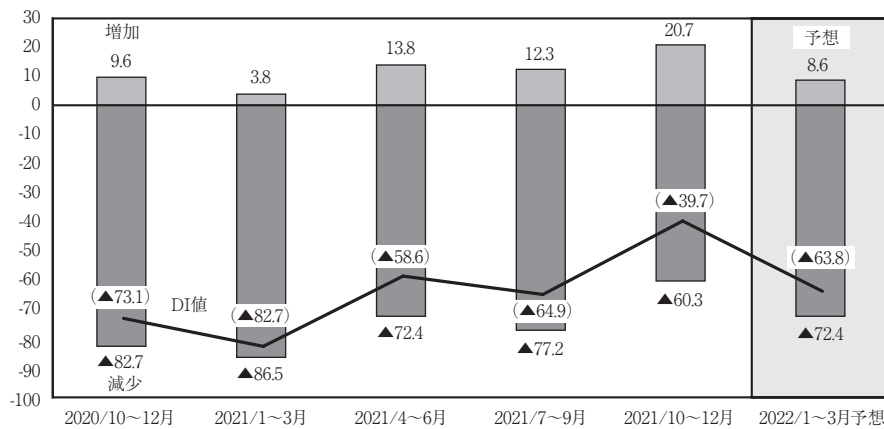
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

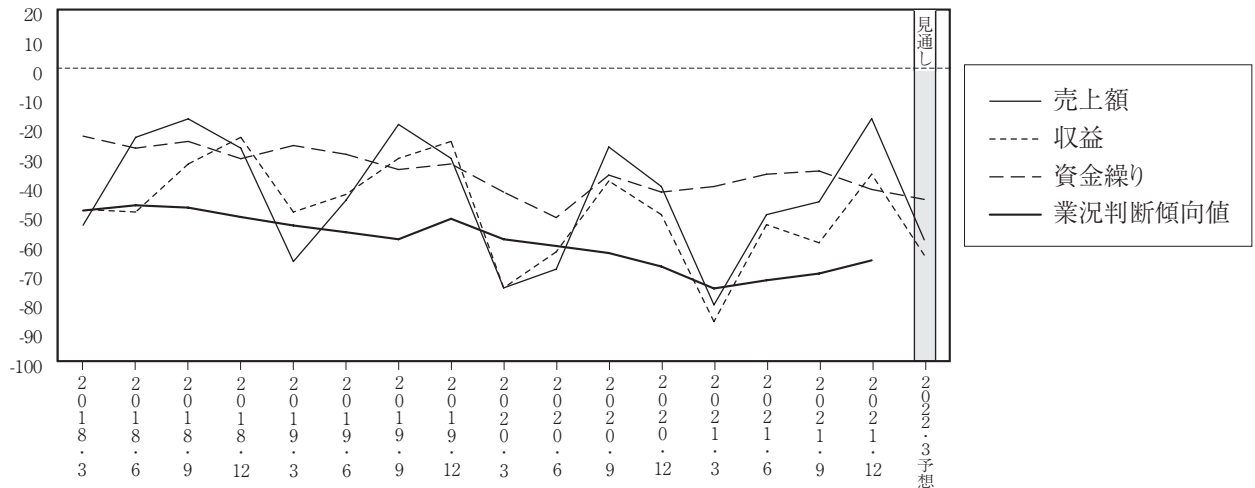
カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
売上額	▲40.4	▲80.8	▲50.0	▲45.6	(▲50.9)	▲58.6
収 益	▲50.0	▲86.5	▲53.4	▲59.6	(▲54.4)	▲63.8
資金繰り	▲42.3	▲40.4	▲36.2	▲35.1	(▲35.1)	▲44.8

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲39.6となり前期から8.3ポイント増加しました。

主要指標DIは、売上額が▲17.2（前期比28.4ポイント改善）、収益は▲36.2（同23.4ポイント改善）となり改善しました。資金繰りは▲41.4（同6.3ポイント悪化）となり悪化しました。また、今期設備投資をした企業は29.3%と前期比10.0ポイント増加しています。

来期の予想DIは、売上額が41.4ポイント減少の▲58.6、収益が27.6ポイント減少の▲63.8、資金繰りが3.4ポイント減少の▲44.8となり、主要指数がすべて減少し経営環境の悪化が予想されます。また、業況判断予想DIは24.1ポイント減少の▲63.8となり来期の業況の悪化を予想しています。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月~9月	2021年 10月~12月
1	売上の停滞・減少 73.7	売上の停滞・減少 69.0
2	利幅の縮小 26.3	利幅の縮小 32.8
3	仕入先からの値上げ要請 19.3	仕入先からの値上げ要請 27.6

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月~9月	2021年 10月~12月
1	経費節減 57.9	経費節減 53.4
2	品揃え改善 26.3	品揃え改善 34.5
3	宣伝・広告の強化 22.8	売れ筋商品を取り扱う 29.3

サービス業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
業況判断	▲54.5	▲59.1	▲53.2	▲47.9	▲39.6	▲45.8

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
設備の水準	▲13.6	▲6.8	▲17.0	▲16.7	▲18.8	▲27.1
設備投資した企業割合	31.2%			設備投資予定のある企業割合		
	31.2%			25.0%		

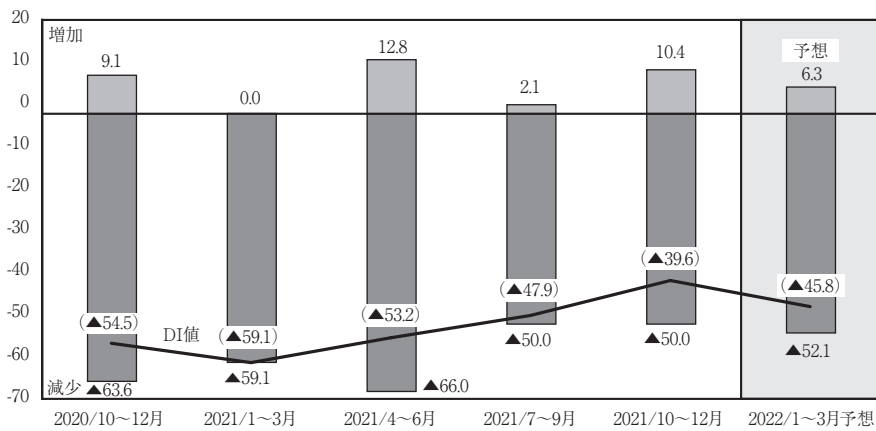
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

〔前期と比べて〕

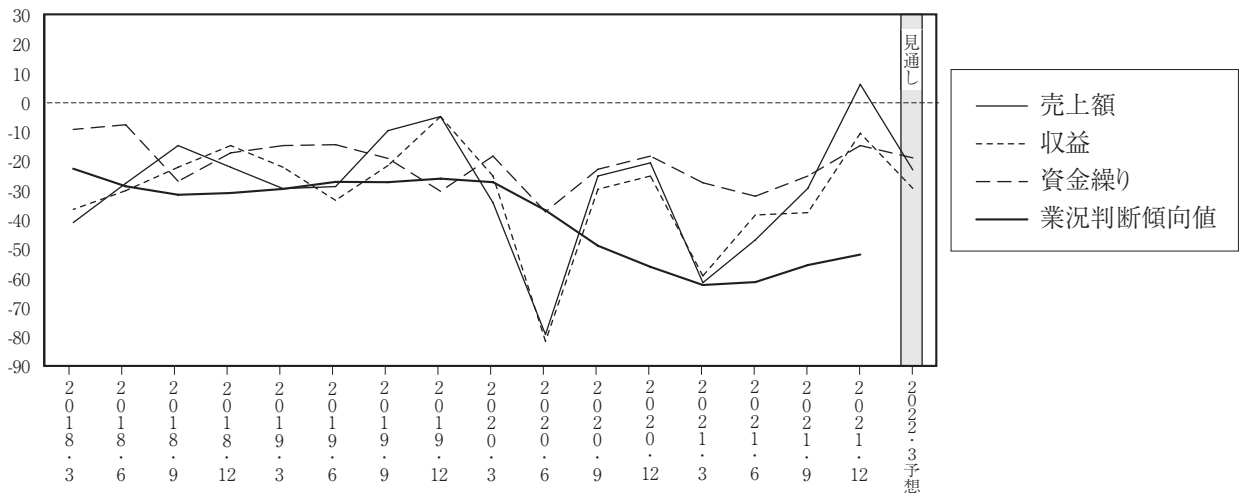
カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
売上額	▲20.5	▲61.4	▲46.8	▲29.2	▲22.9	▲22.9
収益	▲25.0	▲59.1	▲38.3	▲37.5	▲10.4	▲29.2
資金繰り	▲18.2	▲27.3	▲31.9	▲25.0	▲14.6	▲18.8

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲39.6となり8.3ポイント改善となりました。
 主要指標DIは、売上額が6.3（前期比35.5ポイント改善）、収益が▲10.4（同27.1ポイント改善）、資金繰りが▲14.6（同10.4ポイント改善）となり主要指標がすべて10ポイント以上改善しました。また、今期設備投資をした企業は前期と変わらず31.2%となりました。
 来期の予想DIは、売上額が29.2ポイント減少の▲22.9、収益が18.8ポイント減少の▲29.2、資金繰りが4.2ポイント減少の▲18.8と主要指標がすべて減少し経営環境の悪化が予想されます。また、業況判断予想DIは6.2ポイント減少の▲45.8となり来期の業況の悪化を予想しています。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月~9月	2021年 10月~12月
1	売上の停滞・減少 58.3	売上の停滞・減少 50.0
2	人手不足 利幅の縮小 22.9	材料価格の上昇 29.2
3	材料価格の上昇 商圏人口の減少 16.7	人手不足 25.0

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月~9月	2021年 10月~12月
1	経費節減 52.1	経費節減 54.2
2	技術力の強化 35.4	人材の確保 41.7
3	販路の拡大 29.2	技術力の強化 35.4

建設業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
業況判断	19.0	▲2.4	0.0	▲8.0	(▲22.0) 0.0	▲8.0

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
設備の水準	▲14.3	▲7.1	▲14.0	▲2.0	(0.0) ▲16.0	▲12.0
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	32.0%			28.0%		

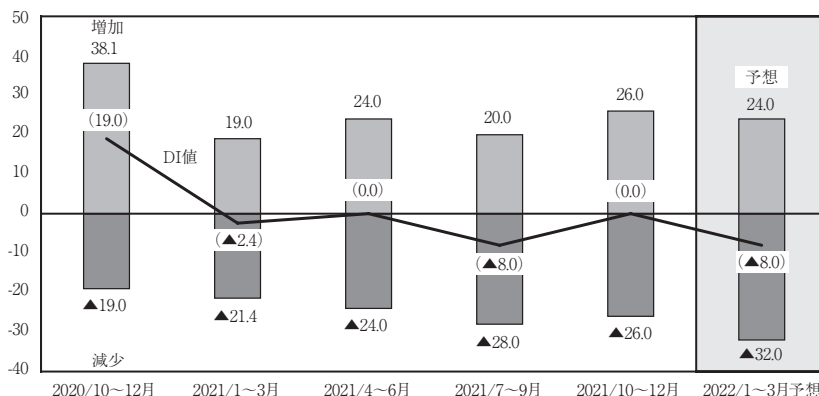
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

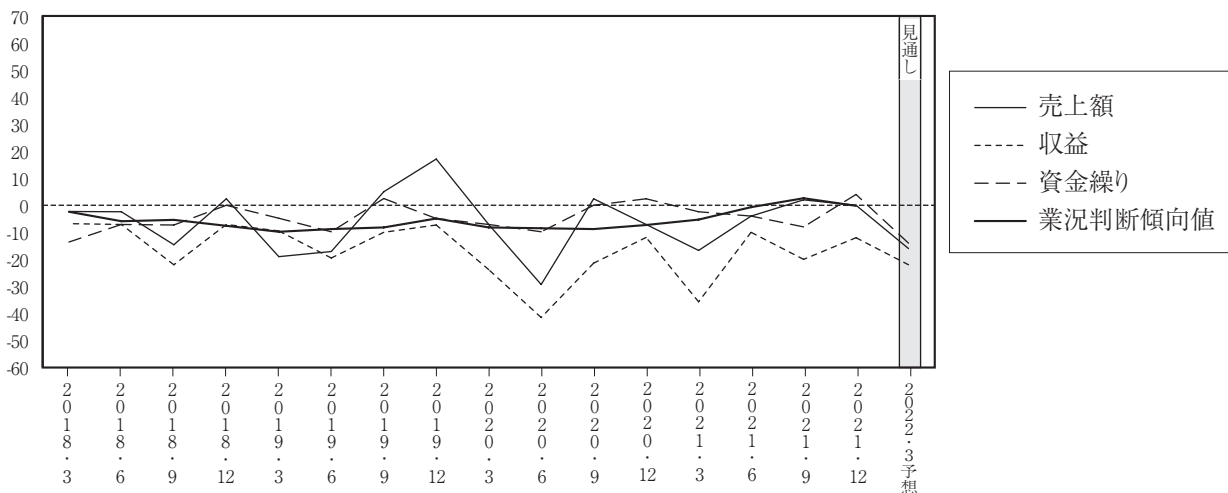
カッコ内は前回調査時予想

	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月予想
売上額	▲7.1	▲16.7	▲4.0	2.0	(▲6.0) 0.0	▲16.0
収益	▲11.9	▲35.7	▲10.0	▲20.0	(▲22.0) ▲12.0	▲22.0
資金繰り	2.4	▲2.4	▲4.0	▲8.0	(▲10.0) 4.0	▲14.0

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは0.0となり前期比80ポイント改善しました。

主要指標DIは、収益が▲12.0(前期比80ポイント改善)、資金繰りが4.0(同12.0ポイント改善)となり改善し、売上額は0.0(同2.0ポイント悪化)となり悪化しました。また、今期設備投資をした企業は32.0%となり12.0ポイント減少しました。

来期の予想DIは、売上額は16.0ポイント減少の▲16.0、収益は10.0ポイント減少の▲22.0、資金繰りは18.0ポイント減少の▲14.0となりすべての主要指数が減少し経営環境の悪化を予想しています。また、業況判断予想DIも8.0ポイント減少の▲8.0となり来期の業況の悪化を予想しています。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 7月~9月	2021年 10月~12月
1	材料価格の上昇 56.0	材料価格の上昇 60.0
2	人手不足 42.0	人手不足 48.0
3	利幅の縮小 34.0	利幅の縮小 26.0

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

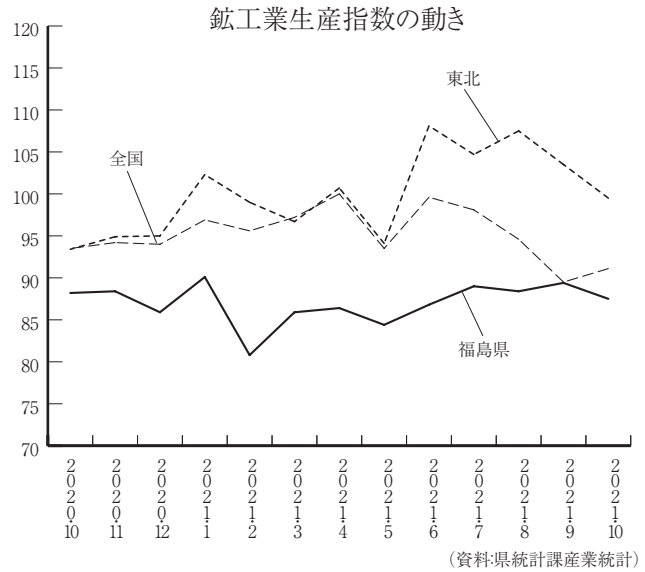
順位	2021年 7月~9月	2021年 10月~12月
1	技術力の強化 54.0	人材の確保 54.0
2	経費削減 52.0	技術力の強化 50.0
3	人材の確保 40.0	経費削減 48.0

経 済 指 標

鉱工業生産指数（生産）

平成27年(2015年)=100.0

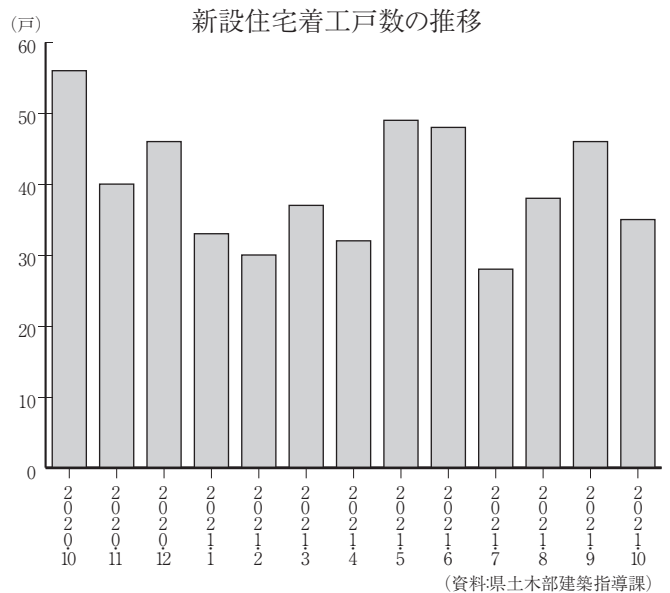
	福島県	東北	全国
2020年 10月	88.2	93.4	93.5
11	88.4	94.9	94.2
12	85.9	95.0	94.0
2021年 1月	90.1	102.3	96.9
2	80.8	99.0	95.6
3	85.9	96.7	97.2
4	86.4	100.7	100.0
5	84.4	94.1	93.5
6	86.8	108.1	99.6
7	89.0	104.7	98.1
8	88.4	107.5	94.6
9	89.4	103.5	89.5
10	87.5	99.5	91.1



安達地方新設住宅着工戸数

(単位:戸)

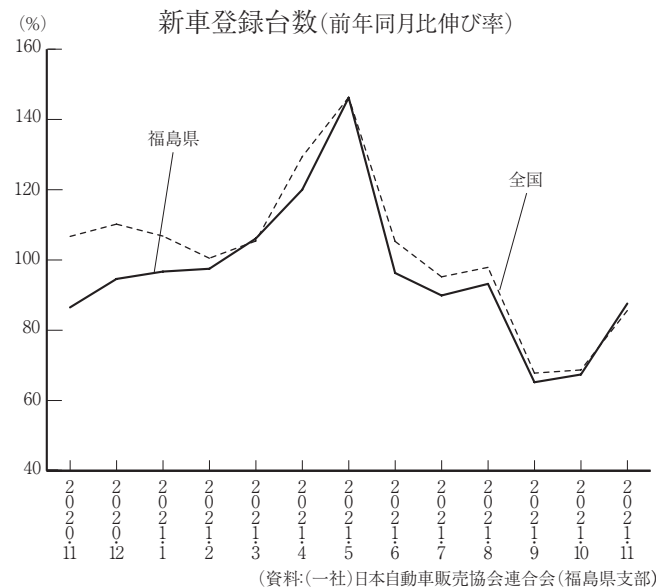
	二本松市	本宮市	安達郡 (大玉村)	合計
2020年 10月	22	32	2	56
11	21	8	11	40
12	10	27	9	46
2021年 1月	16	14	3	33
2	14	13	3	30
3	14	19	4	37
4	24	4	4	32
5	25	18	6	49
6	25	19	4	48
7	19	8	1	28
8	17	15	6	38
9	15	24	7	46
10	13	15	7	35



新車登録台数(乗用車・トラック・バス・軽自動車含む)

(単位:台、%)

	福島県		全国	
	台数	前年比%	台数	前年比%
2020年 11月	6,433	86.5%	411,595	106.7%
12	5,495	94.6%	379,884	110.2%
2021年 1月	5,822	96.7%	384,430	106.8%
2	6,526	97.5%	432,296	100.5%
3	10,234	106.1%	612,992	105.4%
4	5,333	120.0%	349,887	129.4%
5	4,819	146.2%	319,317	146.3%
6	5,430	96.3%	365,631	105.3%
7	5,646	89.9%	377,445	95.2%
8	4,692	93.2%	319,694	97.9%
9	4,841	65.2%	318,370	67.8%
10	4,285	67.4%	279,336	68.7%
11	5,636	87.6%	352,453	85.6%

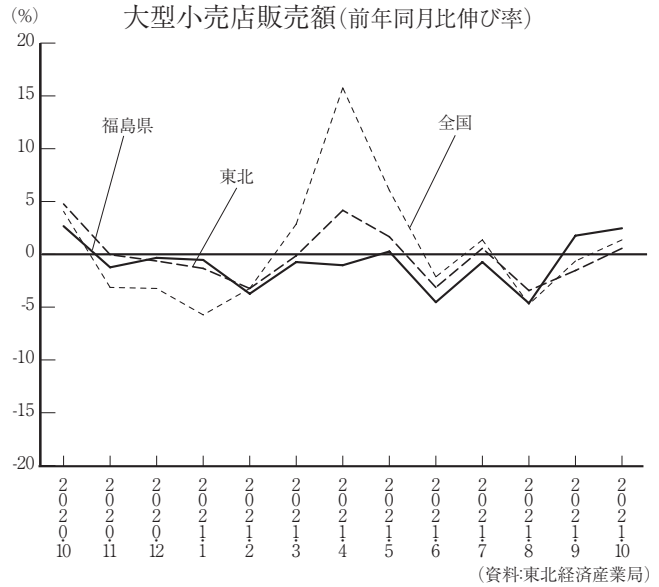


福島県大型小売店販売額

(単位:百万円,%) (単位:十億円,%)

	福島県		東北		全国	
	百万円	前年同月比	百万円	前年同月比	十億円	前年同月比
2020年 10月	22,190	2.6	106,085	4.7	1,630	4.0
11	22,188	-1.3	107,871	-0.1	1,678	-3.2
12	28,236	-0.4	134,787	-0.7	2,103	-3.3
2021年 1月	23,155	-0.6	109,673	-1.4	1,628	-5.8
2	21,028	-3.8	98,979	-3.3	1,496	-3.3
3	23,027	-0.8	108,866	-0.2	1,670	2.8
4	21,799	-1.1	103,503	4.1	1,552	15.7
5	23,551	0.2	108,253	1.6	1,541	6.0
6	22,567	-4.6	106,490	-3.2	1,642	-2.2
7	23,387	-0.8	110,726	0.5	1,713	1.3
8	24,013	-4.7	112,857	-3.5	1,607	-4.8
9	22,001	1.7	100,871	-1.6	1,556	-0.7
10	22,716	2.4	106,667	0.5	1,651	1.3

大型小売店販売額(前年同月比伸び率)

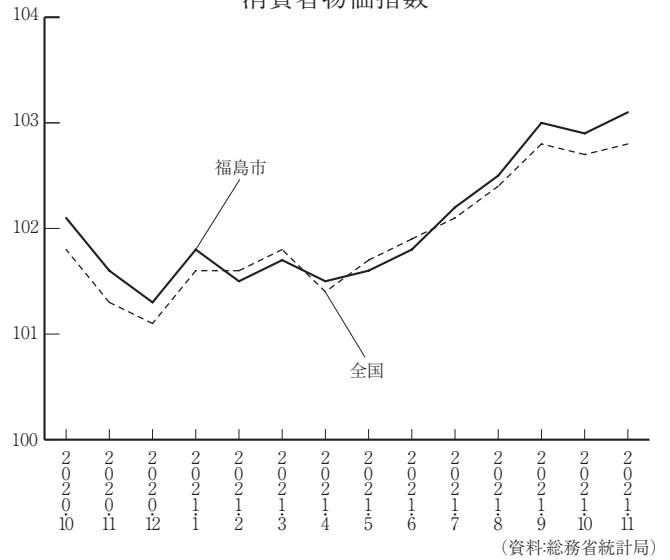


消費者物価指数

平成27年(2015年)=100

	福島市			全国
	指数	前月比	前年比	指数
2020年 10月	102.1	-0.3	-0.4	101.8
11	101.6	-0.5	-1.0	101.3
12	101.3	-0.3	-1.0	101.1
2021年 1月	101.8	0.5	-0.9	101.6
2	101.5	-0.2	-0.7	101.6
3	101.7	-0.2	-0.6	101.8
4	101.5	-0.2	-0.6	101.4
5	101.6	0.1	-0.5	101.7
6	101.8	0.2	0.0	101.9
7	102.2	0.4	0.5	102.1
8	102.5	0.3	0.4	102.4
9	103.0	0.5	0.6	102.8
10	102.9	-0.1	0.7	102.7
11	103.1	0.1	1.4	102.8

消費者物価指数



二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ

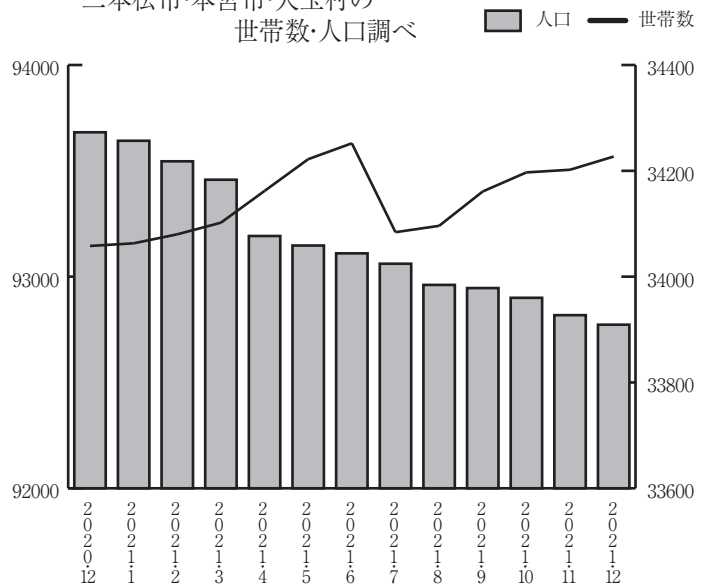
2021年12月1日現在 (単位:戸、人)

区分	世帯数	人口	男女別内訳		人口増減(対前月)
			男	女	
二本松市	20,485	53,912	26,685	27,227	▲ 62
本宮市	10,739	30,125	14,969	15,156	25
安達郡大玉村	2,997	8,736	4,357	4,379	▲ 8
総合計	34,221	92,773	46,011	46,762	▲ 45

(単位:%)

年齢別構成比	年少人口0~14歳	生産年齢15~64歳	老年人口	
			65歳以上	75歳以上
二本松市	10.4	54.0	35.6	17.4
本宮市	12.7	57.7	29.6	14.6
大玉村	14.7	56.8	28.5	12.5

二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ



まつしん景況レポート特別調査 「2022年(令和4年)の経営見通し」

問1 貴社では2022年の日本の景気をどのように見通していますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
良い	1.7%	0.0%	0.0%	2.0%	0.9%
やや良い	13.8%	13.8%	12.8%	4.1%	11.3%
普通	27.6%	12.1%	25.5%	20.4%	21.2%
やや悪い	39.7%	50.0%	44.7%	51.0%	46.2%
悪い	15.5%	19.0%	14.9%	22.4%	17.9%
非常に悪い	1.7%	5.2%	2.1%	0.0%	2.4%

問2 貴社では2022年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
良い	1.7%	1.7%	0.0%	2.0%	1.4%
やや良い	15.5%	8.6%	12.8%	14.3%	12.7%
普通	44.8%	19.0%	38.3%	32.7%	33.5%
やや悪い	22.4%	48.3%	34.0%	38.8%	35.8%
悪い	13.8%	17.2%	12.8%	10.2%	13.7%
非常に悪い	1.7%	5.2%	2.1%	2.0%	2.8%

問3 2022年において貴社の売上額の伸び率は2021年比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
30%以上の増加	0.0%	1.7%	10.9%	4.1%	3.8%
20~29%の増加	1.7%	0.0%	0.0%	2.0%	0.9%
10~19%の増加	8.6%	3.4%	6.5%	6.1%	6.2%
10%未満の増加	22.4%	10.3%	23.9%	14.3%	17.5%
変わらない	32.8%	31.0%	30.4%	28.6%	30.8%
10%未満の減少	20.7%	27.6%	15.2%	18.4%	20.9%
10~19%の減少	8.6%	6.9%	4.3%	14.3%	8.5%
20~29%の減少	1.7%	12.1%	6.5%	10.2%	7.6%
30%以上の減少	3.4%	6.9%	2.2%	2.0%	3.8%

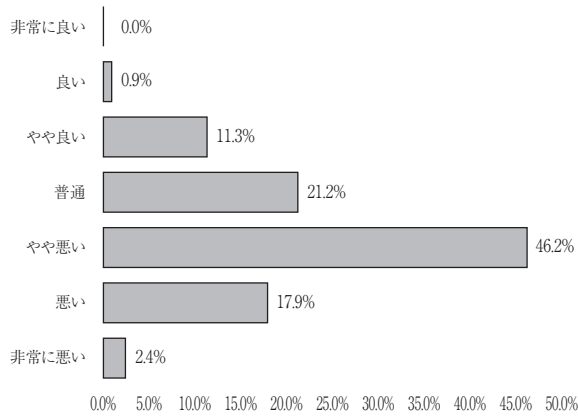
問4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
すでに上向いている	22.4%	3.5%	4.5%	17.8%	12.3%
6か月以内	13.8%	17.5%	18.2%	11.1%	15.2%
1年後	22.4%	14.0%	27.3%	22.2%	21.1%
2年後	10.3%	17.5%	18.2%	13.3%	14.7%
3年後	5.2%	3.5%	2.3%	2.2%	3.4%
3年超	3.4%	5.3%	4.5%	2.2%	3.9%
業況改善の見通しは立たない	22.4%	38.6%	25.0%	31.1%	29.4%

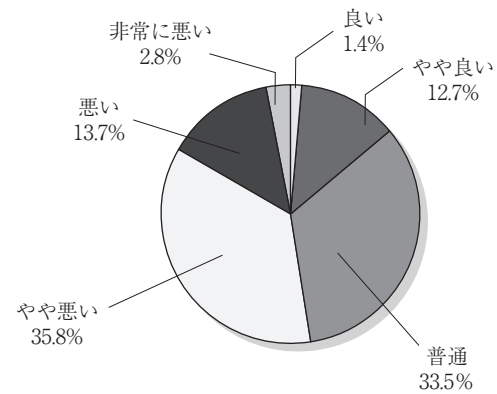
問5 様々な分野で原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題となっていますが貴社ではどのような対応を取っていますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない	15.1%	22.7%	8.1%	10.0%	14.3%
仕入先・仕入方法の変更	9.7%	13.6%	20.3%	18.8%	15.2%
製品・商品・サービスの見直し	8.6%	11.4%	9.5%	7.5%	9.3%
経費の削減	32.3%	23.9%	28.4%	21.3%	26.6%
生産性の向上(システム投資など)	9.7%	1.1%	8.1%	7.5%	6.6%
代替品の確保	5.4%	6.8%	5.4%	10.0%	6.9%
仕入の削減(生産・販売量の調整)	7.5%	8.0%	9.5%	7.5%	8.1%
仕入の中止	0.0%	1.1%	0.0%	3.8%	1.2%
その他	3.2%	2.3%	1.4%	0.0%	1.8%
特に対応はしていない	8.6%	9.1%	9.5%	13.8%	10.1%

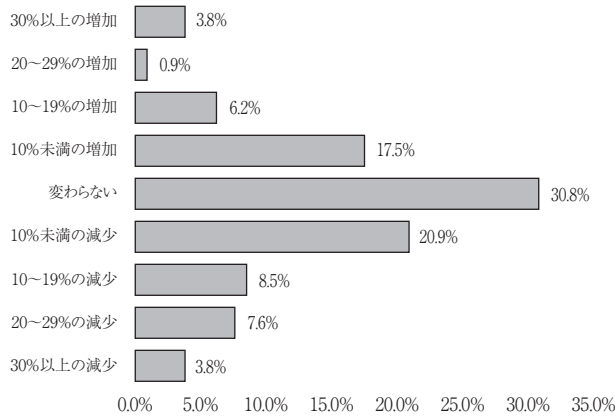
問1. 貴社では2022年の日本の景気をどのように見通していますか。



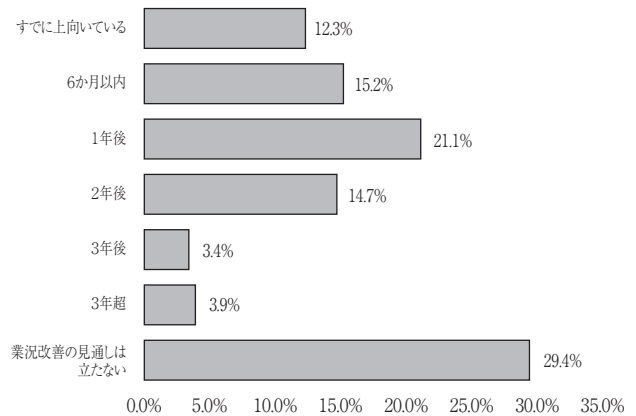
問2. 貴社では2022年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



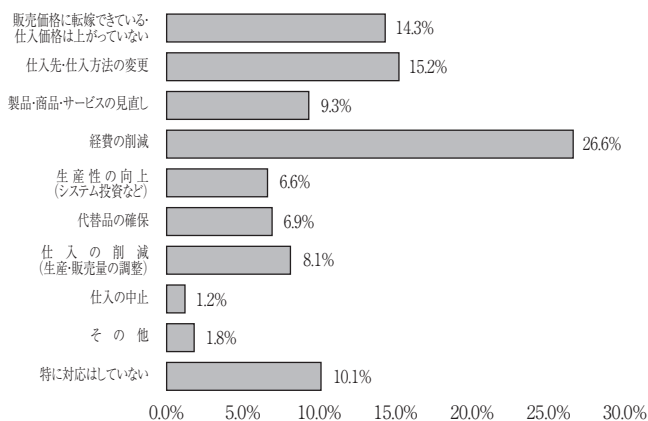
問3. 2022年において貴社の売上額の伸び率は2021年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



問4. 貴社では、自社の業況が向上く転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5. 様々な分野で原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題となっていますが貴社ではどのような対応を取っていますか



まつしん SDGs ローン

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



二本松信用金庫は、SDGsの取組みをされる企業を応援するため「まつしんSDGsローン」の取扱いを開始しました。
SDGsの目標達成を実現するための運転資金・設備資金をご入用の際は、当金庫までご相談下さい。

1. 対象となるお客様	・当金庫営業区域内の法人または個人事業者で当金庫会員の方
2. お使いみち	・SDGs(持続可能な開発目標)を実現するための 運転資金・設備資金 例:太陽光発電設備設置資金 省エネ設備購入資金 電気自動車購入資金等
3. 融資限度額	・1事業者当たり1億円以内
4. 貸出金利	・当金庫所定の金利と致します。
5. ご返済方法及び期間	・手形貸付:1年以内 一括返済 ・証書貸付:15年以内 元金均等返済(原則として耐用年数の範囲内)
6. 連帯保証人・担保	・連帯保証人:経営者保証のチェックリストに準じます。 ・担保:必要に応じ徴求する場合があります。
7. その他	・ローンご利用については当金庫所定の審査がございます。 ・金利情勢が大幅に変動した場合には金利を見直す場合がございます。

SDGs(エスディーゼーズ)とは、「持続可能な開発目標」のごとで、2015年9月に国連で採択されました。「誰も置き去りにしない」世界の実現のために、2030年に向けて達成する17項目のゴールが設定されており、世界中でSDGsの取組みが進められています。
二本松信用金庫も福島県内8金庫と「SDGs共同宣言」に基づきSDGs共通の取組みに参加しています。

※詳しくは各営業店窓口及び融資渉外担当者へおたずね下さい。



ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

本店営業部 23-1215 根崎支店 23-0022
本宮支店 33-2159 岩代支店 55-2233
東和支店 46-2104 安達支店 23-3456
金色支店 23-0880

お問い合わせはお近くのまつしんへ

本店営業部 ☎0243(23)1215 根崎支店 ☎0243(23)0022
本宮支店 ☎0243(33)2159 岩代支店 ☎0243(55)2233
東和支店 ☎0243(46)2104 安達支店 ☎0243(23)3456
金色支店 ☎0243(23)0880

まつしん景況レポート No.145

- 発行／二本松信用金庫
〒964-0807 福島県二本松市金色久保227番地9
- 発行年月／2022年2月(昭和60年1月 第1号)
- 編集／経営企画部 ☎(0243)23-3696
- http://www.matsushin.jp